

令和 8 年度 幼稚園経営方針

丹波篠山市立大山幼稚園

1 幼稚園経営の基本方針

(1) 学校教育としての就学前教育の充実

- ・一人一人の幼児の発達や興味や関心に応じて、人や自然とつながり心豊かでたくましく成長できるよう、適切な教育環境の構成と指導法の改善・充実に努める。
- ・幼稚園教育要領に基づく幼児教育の充実と、小学校以降の生活や学習の基盤となる遊びを通しての学びを位置付けた保育展開(アプローチカリキュラム)を工夫、改善する。

(2) 保護者や地域・関係諸機関との連携強化

- ・地域の人、物、自然と関わりながら、様々な体験をすることで豊かな感性や表現力、行動力等を育む。保護者や地域に本園の保育活動についての説明を丁寧に行い、地域とともにある保育活動の充実を図る。

(3) 安全・安心を基盤とした園生活の充実

- ・幼児の安全と安心を確保するため、施設の管理と改善を図るとともに、不審者対応や事故対応、適切な感染症対策、未然防止等の危機管理を十分行う。

2 幼稚園教育目標

「なかよく げんきに ちからいっぱい」

～地域の人、もの、自然とつながり、心豊かでたくましい大山っ子の育成～

3 めざす園児像～私と私たちの世界を生きる子を育む～

(1) やさしく思いやりのある子

- ・明るく元気な挨拶をし、すすんで他者とのかかわる子
- ・友だちと仲良くし、助け合ったり協力したりする子
- ・自他の命を大切にし、健康で安全に生活しようとする子

(2) 夢中になって遊べる子

- ・身近な人やもの、自然に好奇心や興味関心をもち、意欲的に遊ぶ子

(3) 明るくたくましい子

- ・自分の思いや考えをすなおに表現し、何事にも積極的に挑戦しようとする子

4 めざす幼稚園像

(1) 安全安心で、子どもの笑顔があふれる幼稚園

(2) 子どもも教職員も元気があり活気あふれる幼稚園

(3) ふるさと大山が大好きで、地域とともにある幼稚園

5 めざす教師像～鳥・魚・虫・心の眼で～

(1) 子ども一人一人に寄り添い、子どもと共に歩む教職員

(2) 元気に明るく行動し、協働・協力体制で取り組む教職員

(3) 研鑽に努め、創意工夫しながら成長する教職員

(4) 保護者、地域から信頼される教職員

6 具体的な取組

(1) 発達や学びの連続性を踏まえた教育を充実する。

- ・2年間の保育課程を見通して編成し、園児一人一人の個性や可能性を発揮させる。
[4歳児] 生活や好きな遊びの中から興味・関心を導き、表現する喜びを育てる。
[5歳児] 遊びを豊かにし、興味・関心から意欲的な活動に発展させる。
- ・小学校との連携を深め、交流する活動を積極的に行ったり、合同研修や参観等を実施したりし、幼小の円滑な接続を組織的に行う。

(2) 基本的な生活習慣を身につけ、健全な心身の基礎を培う。

- ・生活に必要な習慣を身に付けることの大切さに気づき、自覚できるようにする。
[4歳児] 基本的な生活習慣や態度を日々の積み重ねにより身につけさせる。
[5歳児] 生活をリズム化させ、意欲的な態度を育成する。
- ・発達段階の特性に応じた様々な遊びを通して、自ら体を動かす楽しさや心地よさを味わえるようにする。

(3) さまざまな体験から豊かな感性と創造性を高める。

- ・身近な自然環境や素材を生かした遊びの中から学び合う指導を展開する。
- ・体験を計画的に構成し、教職員の創意工夫のもと、目標及び内容を明確にした指導を行う。
- ・地域の人々や保護者に理解と協力を得、地域と関わり一体となった活動を推進していく。

(4) 友だちとのかかわりを大切にし、助け合い、協力ができる子を育成する。

- ・自分の考えや思いを伝え合える環境や雰囲気大切に保育活動を展開する。
- ・指導体制を整え、支援を要する園児の指導のあり方を研究し、保育に生かす。
- ・小規模園のメリットを生かし、年少・年長児がふれ合う保育活動の充実を図る。
- ・近隣の幼稚園との交流活動を推進する。

(5) 身近な自然を通して人とのかかわる力を育む教育の充実を図る。

- ・自然の中で遊ぶ体験から、友だちや先生とふれ合いを深め、進んでかかわろうとする気持ちを育てる。
- ・自然環境や地域の人々とかかわりにより、『五感』を発達させる保育活動を展開する。
- ・身近な動植物に親しみを持ち、生命の尊さに気づき、いたわったり大切にしたりしようとする気持ちを育てる。

(6) 地域とともにある幼稚園づくりを推進する。

- ・保護者や地域とのつながりを保育に生かし、互いに感謝し喜び合う関係を構築する。
- ・保護者や地域の人々に教育活動の内容等を情報発信し、信頼される園づくりに努める。

(7) 安全・安心な園づくりに職員一丸となって取り組む。

- ・安全管理、安全教育の見直しと充実を図り、危機管理機能を高める。
- ・家庭や地域の人々、各種団体とも連携し、園の安全管理体制を充実させる。

具体：安全点検方法の改善、不審者対策（門扉の施錠、連絡体制の強化等）

(8) 教職員としての資質と実践的指導力の向上を図る。

- ・教職員の協働体制を構築し、明るく働きやすい職場環境づくりに努める。
- ・研修の充実努め全職員で方向性を合わせ、指導方法の工夫・改善を図り、魅力ある保育活動に努める。
- ・園児一人一人の教育的ニーズに応じた適切な指導・支援の在り方について研鑽を積む。

(9) 一人一人の教育的ニーズに応じた指導・支援の充実を図る。

- ・チームで取り組む支援体制の構築とPDCAサイクルによる点検評価や共通理解を図る。
- ・個別の教育支援計画及び個別の指導計画の作成と活用を図る。
- ・保護者や関係機関（専門・小）との連携を大切に、支援の充実や支援の継続に努める。

(10) 働きやすい職場環境づくりを進める。

- ・ワーク・ライフ・バランスに努め、教職員が生き生きと働き、そのことが園保育の充実につながるように全教職員の共通認識のもとで取り組む。
☆教職員のウェルビーイング(共通目的・コミュニケーション・貢献意欲)